

4.一次単価ファイル

①一次単価の入力等

d.材料単価データを利用した単価入力②(採用都市を指定して取り込む)

材料単価データの読み込み時に、採用都市を指定する方法について説明します。

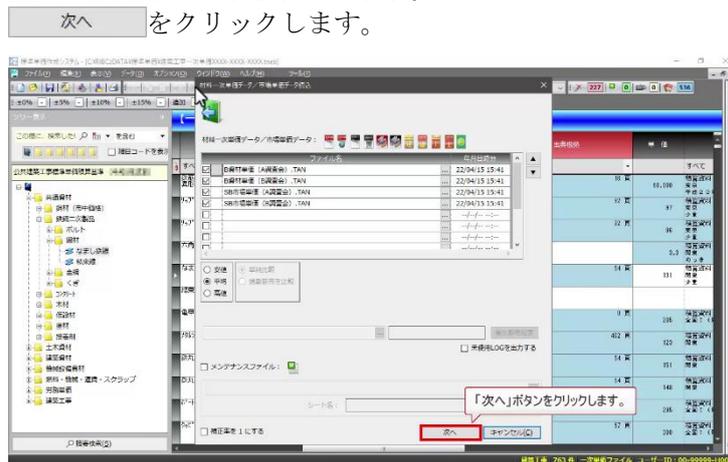
- ① 「データ」メニューをクリックします。



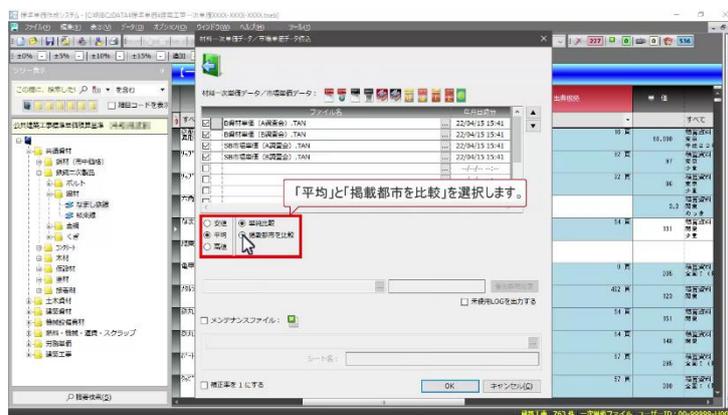
- ② 「材料一次単価データ・市場単価データ読込」をクリックします。



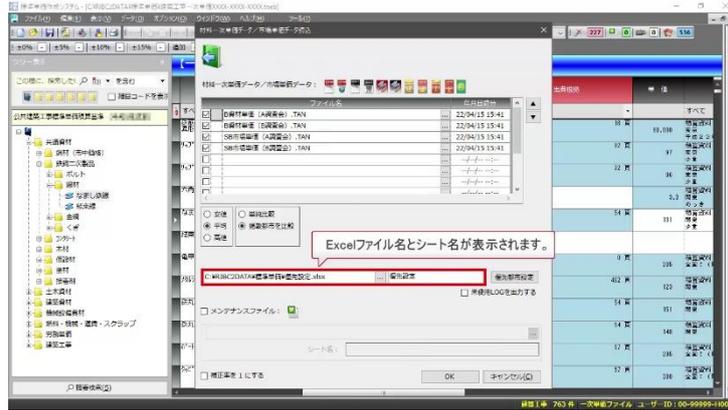
- ③ 前回の設定をそのまま利用します。



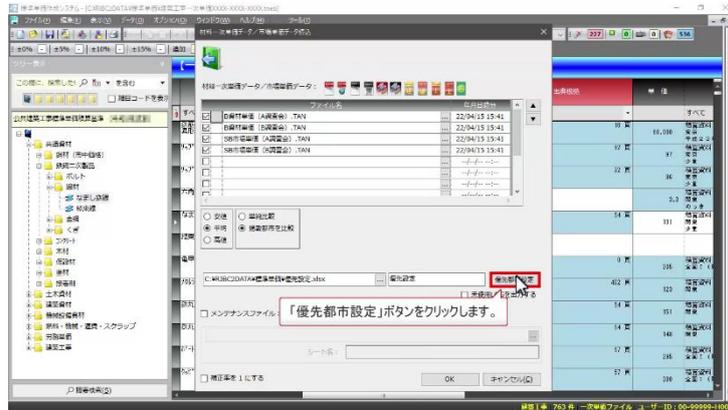
- ④ 読込条件を設定します。
ここでは「平均」と「掲載都市を比較」を選択します。



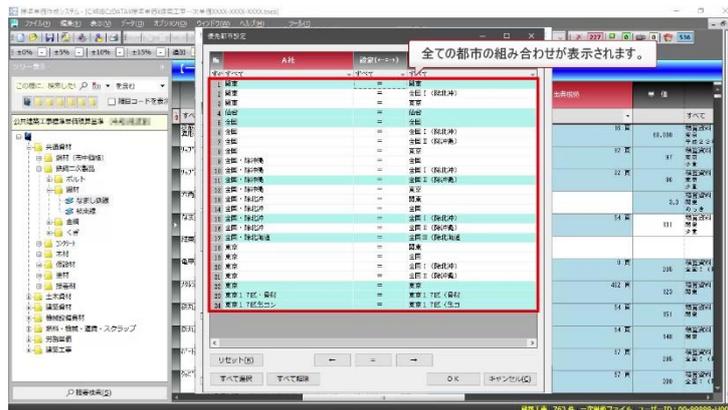
優先都市設定の Excel ファイル名とシート名が表示されます。初期設定では、編集中の一次単価ファイルと同じフォルダが保存場所として指定されます。



⑤ 「優先都市設定」をクリックします。



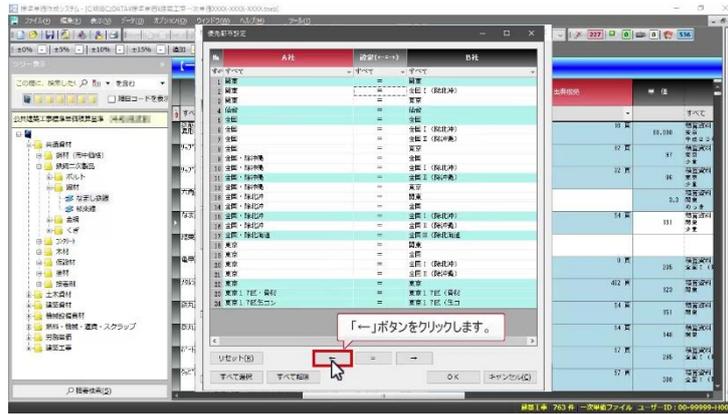
優先都市設定画面には、設定を行った材料単価データに存在するすべての都市の組み合わせが表示されます。優先される都市は、濃い水色で塗りつぶされます。左右の都市条件が同じ場合は、両方の都市が薄い水色で塗りつぶされます。設定欄が「=」で、背景が白色の場合は「安値」や「平均」など、読み込み時に設定した比較方法が採用されます。



⑥ 今回は東京、関東、全国の順に単価を取得するように設定します。最初に2行目の設定欄を選択します。



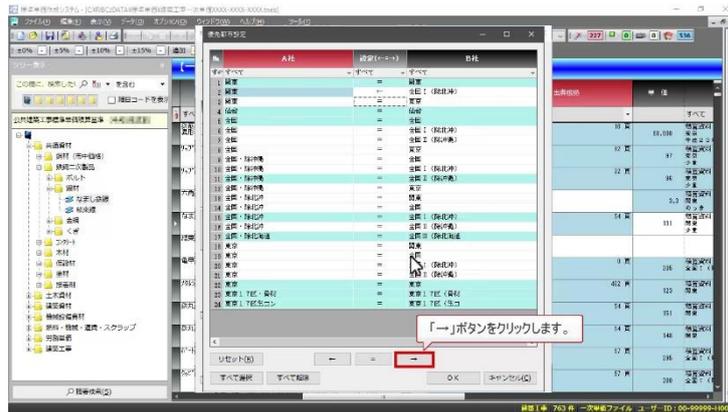
- ⑦ 2行目では「関東」を優先します。
画面下の ← をクリックします。



- ⑧ 次に3行目の設定欄を選択します。



- ⑨ 3行目では、東京を優先します。
画面下の → をクリックします。



- ⑩ 次に8行目の設定欄を選択します。



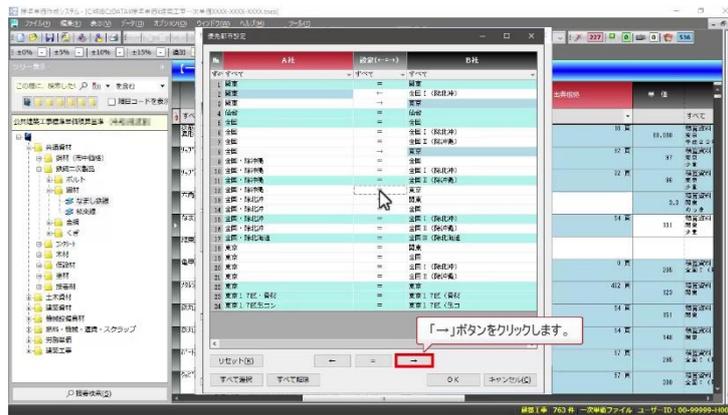
- ⑪ 8 行目では、東京を優先します。
画面下の  をクリックします。



- ⑫ 次に 12 行目の設定欄を選択します。



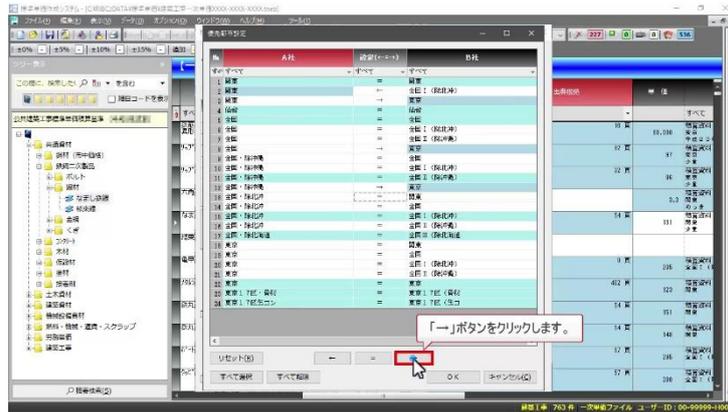
- ⑬ 12 行目では、東京を優先します。
画面下の  をクリックします。



- ⑭ 次に 13 行目の設定欄を選択します。



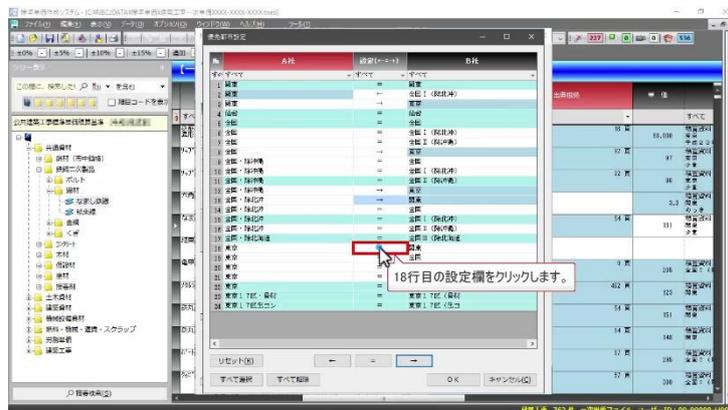
- ⑮ 13行目では、関東を優先します。
画面下の  をクリックします。



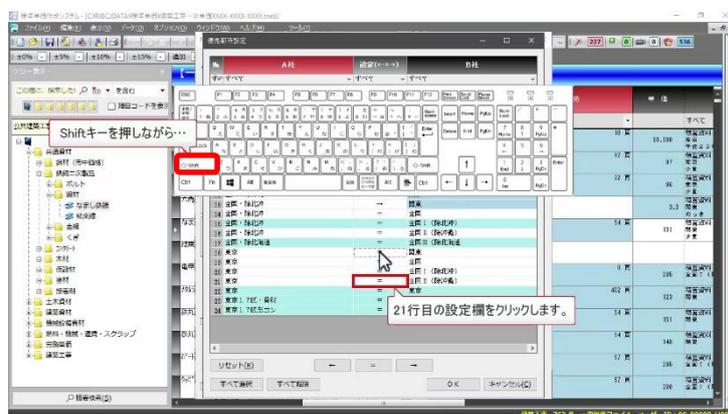
18行目から21行目までは、A社が東京となっています。
今回はまとめて設定を行います。



- ⑯ まずは18行目の設定欄を選択します。

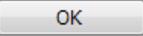


- ⑰ 21行目の設定欄を Shift キーを押しながら選択します。

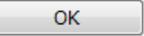


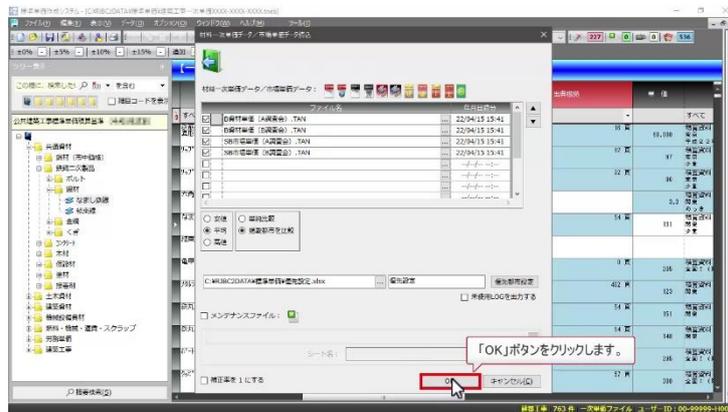
⑱ 画面下の  をクリックします。

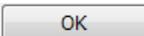


⑲ 優先都市設定画面の  をクリックします。



⑳ 材料一次単価データ・市場単価データ読込画面の  をクリックします。



㉑ 確認メッセージの  をクリックします。

